

令和7年 11月 14日

浜田市議会議長 様

住所浜田市弥栄町木都賀イ 811-11

氏名 有田 康夫

(団体名) 市民オンブズマンはまだ

(代表者) 有田 康夫

紹介議員

足立 象  
沖田真治

子育て支援の充実 の請願について

## 【請願の趣旨】

### 1 願意

子育て日本一と言われるぐらいに、浜田市として全力をあげ、子育て支援をおこなって欲しい。まず、直ぐに打てる対策として経済的支援を中心に取り組んで欲しい。

- ・保育料第1子から完全無償化
- ・小中学校の給食費完全無償化

### 2 理由

少子化は日本全国でも問題となっているが、特に浜田市においては、少子化の進行が予測より悪化した状況にある。出生数の激減が止まらない。このことは、浜田市の将来に対し、致命的状況となることは明らかである。少子化の原因は、幾つもの要因があり、簡単には解決できないかもしれないが、対策をさらに進めなければ、手遅れになってしまう。出来る事から、次々とスピード感を持って取りくんで欲しい。



島根県および島根県内の市町村が協力して進めている「島根県定住財団」によると令和 6 年度の島根県への移住相談者数は前年度の 2 倍となっており、かつその相談者の年齢層は 20 代から 40 代が全体の 80%を占めると聞く。

したがって、相談者は、島根県内のどの市区町村に決めるかの判断基準を子育て支援の充実したところを選択する傾向にあると聞く。

実際、邑南町は「日本一の子育て村を目指して」を市のホームページのトップ画面に表示し、PR をおこなっており、実績も上がっている。また全国的に成功例とされている明石市の先例などもある。ぜひ浜田市においても、まずは直ぐに取り組める経済的な子育て支援策を充実させて欲しい。これらの政策を実施するのに、すべてを含めて年間約 2 億円との試算を担当課からもらっている。浜田市の予算を 0.5%で足りる。また国も来年度には、小学校の給食費について補助を検討している。つまり今後は、国からの支援拡充も見込まれ、市の負担は、軽減される見通しが立てられる。子育て世代にとって、一年や二年先送りする事は、歴史資料館について 10 年以上議論する事以上に、地域社会への影響は甚大である。来年度予算の策定に間に合うよう、即政策を策定して欲しい。